

# 環境活動レポート

## 2013

対象期間【平成25年6月～平成26年5月】

北上ビルメン株式会社  
北上市幸町2番5号

平成26年12月12日作成

# 目 次

◆ 環境方針	.....	3
◆ 環境行動指針		
◆ 事業の概要	.....	4
■ 事業所名及び代表者氏名		
■ 本社及び営業所所在地		
■ 環境責任者氏名及び担当連絡先		
■ 事業活動内容		
■ 許可証一覧	.....	5
■ 事業の規模		
■ 廃棄物運搬車両		
■ 実施体制	.....	6
■ 教育・訓練の実施	.....	7
■ 環境コミュニケーション		
■ 地域社会貢献活動		
■ 環境上の緊急事態への準備及び対応	.....	8
◆ 環境への負荷の現状	.....	9
◆ 環境目標とその実績	.....	10
◆ 環境活動の取組結果と その評価及び次年度の取組内容	.....	14
◆ 環境関連法規への違反、訴訟の有無	...	16
◆ 代表者による全体評価と見直し結果		
◆ 情報公開	.....	17

# 環境方針

北上ビルメン株式会社は社員全員で、ビルメンテナンス業・特別管理産業廃棄物及び産業廃棄物収集運搬・一般廃棄物収集運搬業・警備業において、現状よりさらに吟味し、コンプライアンスの徹底を図り、地域社会の環境保全に寄与し、孫・曾孫の世代に安心して安全な美しい自然環境を引継ぐように努力します。

## 環境行動指針

- 1 当社の事業活動に伴う環境負荷(二酸化炭素排出量・排水量・廃棄物)の低減に努めます。
- 2 事業活動に関連する法規制は確実に遵守することを誓約いたします。
- 3 業務車両のアイドリングストップなどによるエコドライブを実践し、省エネと排ガスの抑制に取組めます。
- 4 受託した一般・産業廃棄物の分別指導により再資源化に取組み、リサイクル率を向上させます。
- 5 グリーン購入を積極的に努める。
- 6 地域・社会貢献活動の推進に努めます。

この環境方針は従業員に周知すると共に社外にも公表する。

平成 18 年 5 月 18 日制定  
平成 20 年 3 月 14 日改定  
平成 23 年 7 月 14 日改定

北上ビルメン株式会社

代表取締役社長 鈴木俊彦

# 1. 事業の概要

## 1) 事業所名及び代表者氏名

北上ビルメン株式会社 代表取締役社長 鈴木俊彦

## 2) 本社 〒024-0033 岩手県北上市幸町 2 番 5 号

TEL 0197-64-3347 FAX 0197-63-6114

警備本部 〒024-0051 岩手県北上市相去町山田 2 番 8 号

北上オフィスプラザ 306 号

認証登録範囲

一関営業所 〒021-0893 岩手県一関市地主町 7 番 33 号

盛岡営業所 〒020-0021 岩手県盛岡市中央通り 2 丁目 11 番 17 号

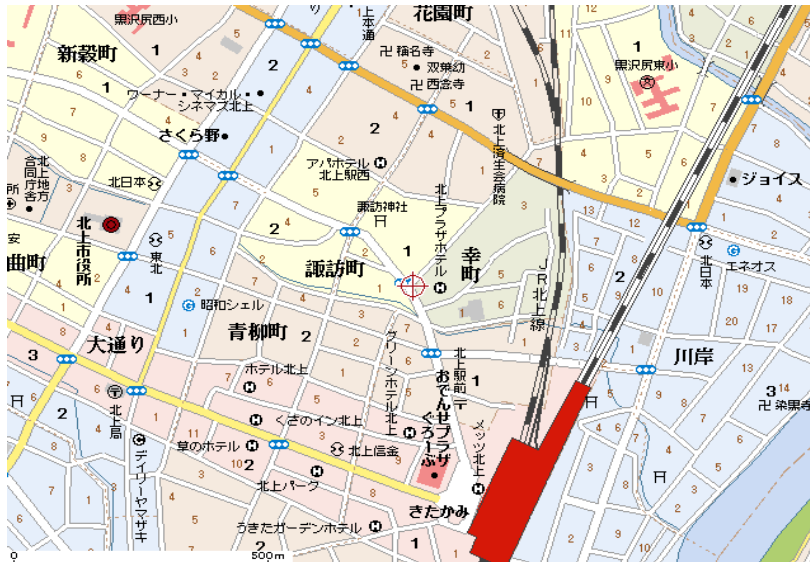
宮古営業所 〒027-0085 岩手県宮古市黒田町 7 番 27 号

※次の営業所、事業所は数量把握が困難である為、認証対象外です。

花巻営業所 〒025-0065 岩手県花巻市星ヶ丘 2 丁目 27 番 22 号

仙台事業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央 1 丁目 5 番 1 号

※ 本社地図 ※ JR北上駅より、徒歩 5 分



## 3) 環境責任者氏名及び担当連絡先

責任者 総務部主任 平野 直希

TEL 0197-64-3347 FAX 0197-63-6114

E-mail [info@kbm1972.com](mailto:info@kbm1972.com) URL <http://www.kbm1972.com>

## 4) 事業活動の内容

(1) ビルメンテナンス業

(2) 特別管理・産業廃棄物収集運搬業

(3) 一般廃棄物収集運搬業

(4) 警備業

(5) 一般建設業

認証登録範囲

※ 弊社は社員の大半がビルメンテナンス業の清掃部と警備部に属しており、大半の社員が請負先会社に常駐しております。よって環境負荷が、最も大きい本社業務(1)から(4)の業務を認証登録範囲としました。請負先常駐社員の光熱水道費は先方持ちであり、各社のEMSへの取り組みに従うことから範囲より除きました。全従業員に対し、必要な教育を行います。

## 5) 認証範囲の許可証一覧

許可名	許可期間	許可番号	事業の範囲
建築物環境衛生総合管理業	H24.6.8～ H30.6.7	県知事登録 岩手県 53 二十四総第1号	
建築物ねずみこん虫等防除業	H24.11.18～ H30.11.17	県知事登録 岩手県 53 二十四ね第2号	
建築物飲料水貯水槽清掃業	H24.8.29～ H30.8.28	県知事登録 岩手県 53 二十四貯第1号	
浄化槽保守点検業	H25.3.14～ H28.3.13	県知事登録 岩手県 24 (登)中第11号	
産業廃棄物収集運搬業	H24.5.15～ H29.5.14	県知事許可 岩手県第 00302006606号	※1
特別管理産業廃棄物収集運搬業	H25.7.19～ H30.7.18	県知事許可 岩手県第 00352006606号	感染性産業廃棄物収集 運搬
一般廃棄物収集運搬業(北上市)	H26.7.4～ H28.7.3	北上市許可 北上市第 410号	一般廃棄物収集運搬

※1 汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず・がれき類（自動車等破砕及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）

## 6) 事業の規模

活動規模	2013年度 (2013年6月から2014年5月)	683名中
売上高	1,489百万円	本社 : 35名
(認証範囲業務)	1,489百万円	管制・北上待機 : 34名
従業員数	683人	一関営業所 : 7名
対象従業員数	86人	盛岡営業所 : 5名
本社床面積	274.58 m <sup>2</sup>	宮古営業所 : 5名
		請負先常駐従業員 : 597名

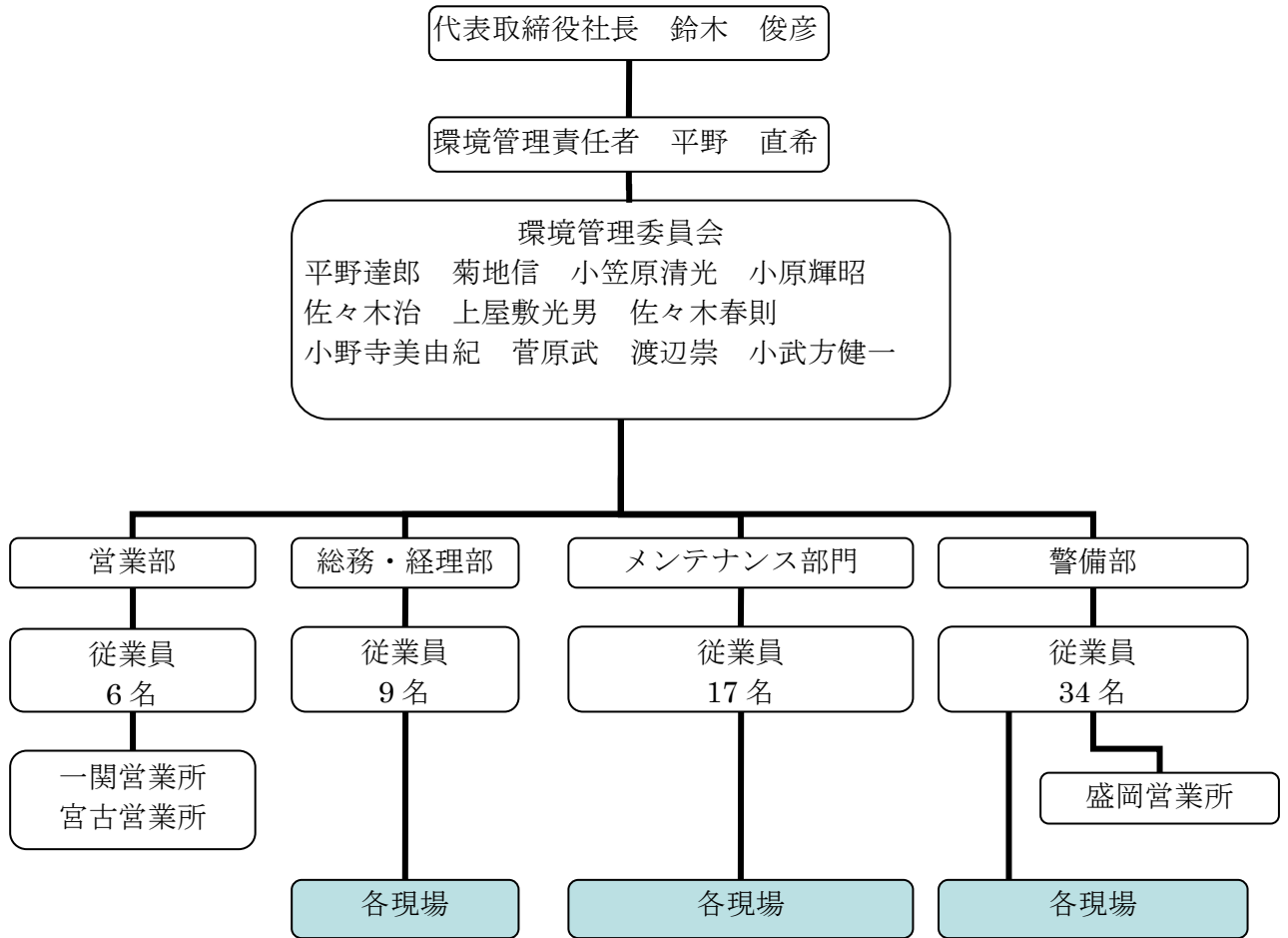
H26.10.31 現在

## 7) 廃棄物運搬車両

	塵芥収集車 1台	アルミバン 1台
車体の形状	塵芥車	バン
種類	普通	普通
積載量	1,500kg	1,300kg

※産業廃棄物処理業としての組織概要は末筆に記載してあります。

8) 実施体制



は対象範囲外です。

役割	担当者	責任・権限
代表取締役社長	鈴木俊彦	①環境管理責任者を任命する。 ②環境管理責任者からの報告を受け全体の見直しを行う。 ③取組に対する資源を用意する。
環境管理責任者	平野直希	①代表者に代わってシステムを構築し、運用する。 ②代表者に結果を報告する。
環境管理委員会	各委員	①環境目標・活動を作成し実施する。 ②必要な教育訓練を計画し実施する。 ③環境関連法規等の遵守状況を定期的に確認する。 ④環境目標・活動の実施状況を定期的に確認・評価する。 ⑤苦情等の受付結果をまとめる。 ⑥問題の是正処置及び予防処置を行う。
部門責任者	小原輝昭 小野勉 菊地信 平野達郎 小笠原清光 佐々木秀樹	①省資源、省エネ、節水を奨励・実施する。 ②EA21 取組に関する教育訓練を受ける。 ③EA21 目標達成の取組を推進し、チェックし、環境管理責任者の了承の下必要な是正処置・改善を行なう。 ④苦情や要望については、各業務主管部長若しくは課長が窓口となり、その報告を受け必要な対応を行なう。
従業員		①部門責任者の下、省資源、省エネ、節水に努める。 ②EA21 取組に関する教育訓練を受ける。 ③自主的に会社の推奨する地域の自然保護活動に参加する。 ④改善提案を行なう。

## 9) 教育・訓練の実施

当社は、エコアクション21環境経営システムの取組を適切に実施するため、必要な教育・訓練を実施する。本社認証登録範囲該当者に対し、環境経営システムガイドライン、環境方針、環境目標及び環境活動計画についての教育を行う。また、環境関連法規制に関連する業務の担当者に対しては、法規制の内容、遵守手順、緊急事態への対応についての教育を行う。

※今期の主な教育実施状況

	教育内容	講師等	対象者
1	階層別教育	環境管理委員	認証範囲従業員
2	緊急事態への対応	環境管理委員	認証範囲従業員

## 10) 環境コミュニケーション

当社は「環境活動レポート」を作成しホームページにて公表しております。  
また外部からの環境に関する苦情や要望等の情報を受け、必要な対応を行います。

## 11) 地域社会貢献活動

地域の方々と協力し、当社周辺の除雪作業を実施するほか、交通安全運動期間中には交差点での街頭活動を実施しております。今後も継続して地域貢献活動を実施します。

### 【除雪作業風景】



### 【秋の交通安全運動 街頭活動風景】



## 12) 環境上の緊急事態への準備及び対応

環境上の緊急事態を想定し、その対応策を定める。また、可能な場合は定期的な訓練を実施する。当社では緊急事態として火災を想定し、初期消火をその対応策とする。尚、遵守すべき環境関連法規制に関連して発生した場合、環境に及ぼす影響が大きいと考えられるものを緊急事態と想定する。

### ※想定される緊急事態及び対応策

想定される緊急事態	①火災発生によるCO <sub>2</sub> の放出 ②消火剤の河川流出
想定される環境影響	①大気汚染、地球温暖化 ②水質汚濁
緊急事態の発生原因	①タバコの吸殻の不始末
緊急事態の予防策	①指定場所以外での喫煙の禁止 ②消防訓練の実施
緊急事態の対応策	①消防署への通報 ②避難誘導 ③初期消火
緊急事態の準備品	①消火器の設置
対応策実施の評価	移動については問題ありませんが、整列、点呼をもう少しスムーズに行えると良いと思います。消火訓練は環境を配慮し水消火器を使用し、風向きに注意をはらいながら的を目掛け放水しました。初めての人もおりましたが恐怖感等なく正しい使用方法で落ち着いて行っておりました。

### 【訓練風景】

#### 想定事態の内容

- ・事務所2F給湯室から火災発生
- ・塵芥収集作業中、突然荷台で爆発・火災発生

#### 緊急事態の対応訓練

- ・消防署への通報
- ・避難誘導
- ・初期消火

[平成 25 年 9 月 27 日]





## 2. 環境への負荷の現状

本社、警備本部、一関営業所、宮古営業所、盛岡営業所  
**【総エネルギー投入量と二酸化炭素排出量】**

	エネルギー消費量 電力:kWh LPG:kg ガソリン等:ℓ			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)		
	2011年度	2012年度	2013年度	2011年度	2012年度	2013年度
電力	83,861	81,896	78,839	385,382	377,563	363,469
LPG	5,726	6,306	5,390	17,189	18,930	16,181
ガソリン	44,567	39,481	39,404	103,469	91,661	91,483
軽油	16,328	17,620	16,951	42,850	46,241	44,485
灯油	7,534	6,349	6,919	18,774	15,821	17,242
合計				568,905	550,216	532,860

※購入電力の二酸化炭素の排出係数は東北電力平成20年度を基準に算出しています。

### 【資源投入量】

	2011年度	2012年度	2013年度
上水	461 m <sup>3</sup>	467 m <sup>3</sup>	455 m <sup>3</sup>

※総排水量を把握するには困難であるため、上水使用量を数値と致しました。

### 【資源投入量】

	2011年度	2012年度	2013年度
コピー用紙	868.6Kg	857.4Kg	822.4Kg

### 【廃棄物排出量】

	当社排出廃棄物量		
	2011年度	2012年度	2013年度
単純焼却	431	424	348
埋め立て	51	22	25
再生利用	1,763	1,576	1,453
合計	2,245	2,020	1,826
リサイクル率	78%	77%	79%

### 3. 環境目標とその実績

#### 3-1 2013 年度の環境目標

環境負荷低減の取組として効果が期待できる。総エネルギー投入量、資源投入量、廃棄物総排出量の3点の削減に取組むことと致しました。また、その他の取組みとしてグリーン購入の推進、環境に関する教育、社会貢献活動等も実施しております。

基準年度を2011年度に設定し、下記の目標を設定致しました。

※2011年度目標未達成項目については、再度同じ目標値を設定した為、中期目標が変動しました。

#### A 総エネルギー投入量の削減

- (1) 電気使用量を基準年度対比で毎年0.5%削減 (2014年度中期目標1.5%削減)
- (2) 灯油使用量を基準年度対比で毎年0.5%削減 (2014年度中期目標1.5%削減)
- (3) ※LPG使用量を基準年度対比で0.5%削減 (2014年度中期目標1%削減)  
※自動車燃料使用量を基準年度対比で0.5%削減 (2014年度中期目標1%削減)

#### B 資源投入量の削減

- (5) 水道使用量を基準年度対比で毎年0.5%削減 (2014年度中期目標1.5%削減)
- (6) ※印刷用紙使用量を基準年度対比で0.5%削減 (2014年度中期目標1%削減)

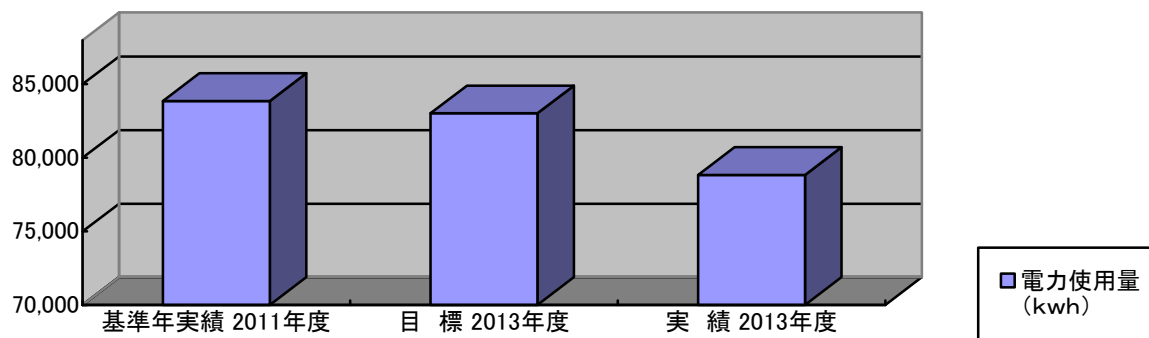
#### C 廃棄物総排出量の削減

- (7) ※当社から排出される廃棄物のリサイクル率を基準年度対比で0.5%アップ (2014年度中期目標1%アップ)
- (8) ※受託した廃棄物の環境効率指数を基準年度対比0.1%アップ (2014年度中期目標0.2%アップ)

#### 3-2 環境への取組実績

##### (1) 電気使用量について

	基準年実績 2011年度	目標 2013年度	実績 2013年度	目標達成率
電力使用量 (kwh)	83,861	83,023	78,839	105%
CO2排出量 (Kg-CO2)	385,382	382,758	363,469	



※購入電力の二酸化炭素の排出係数は東北電力平成20年度を基準に算出しています。

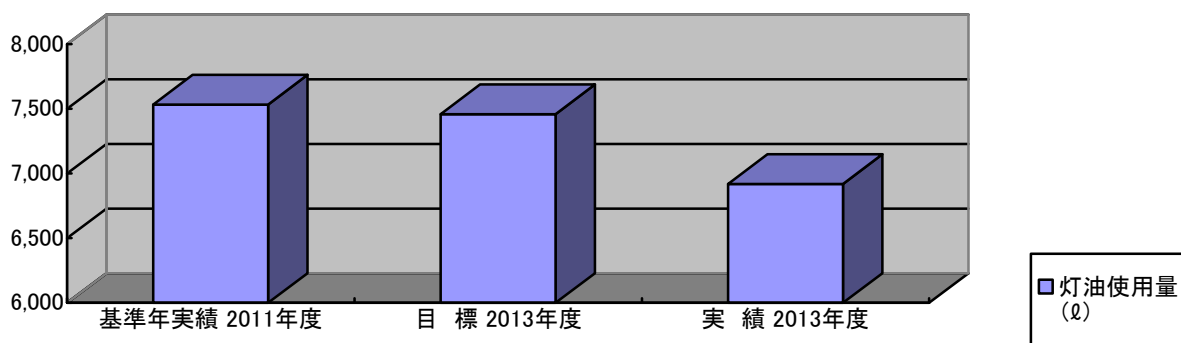
#### 【具体的な取組】

- ・昼休み・退社時の消灯の励行 ・冷暖房機の待機電力カット
- ・クールビズ・ウォームビズにより冷暖房使用の抑制
- ・冷暖房温度を適正にする (夏場 28℃、冬場 20℃)
- ・冬期間の膝掛け使用 ・保温フィルム、断熱材による室内保温対策
- ・すだれの設置による日除け及び断熱対策 ・サーキュレーターによる空気循環



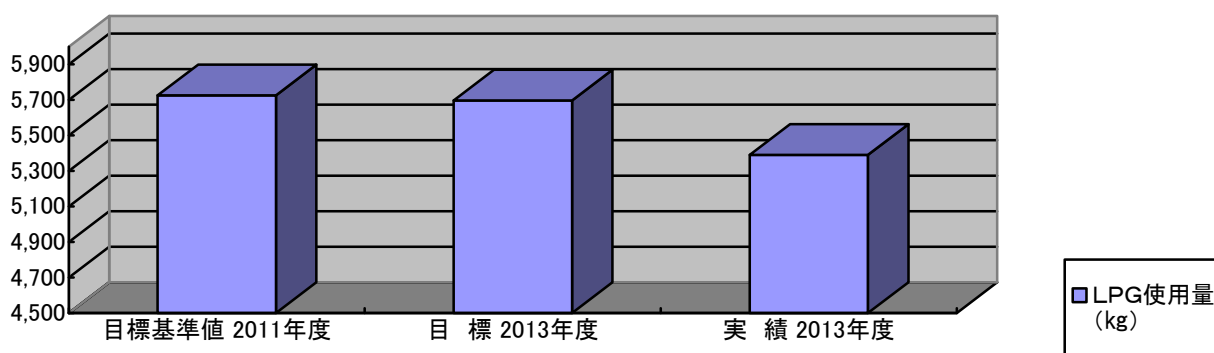
(2) 灯油使用量について

	基準年実績 2011年度	目標 2013年度	実績 2013年度	目標達成率
灯油使用量 (ℓ)	7,534	7,460	6,919	107%
CO2排出量 (Kg-CO2)	18,774	18,590	17,242	



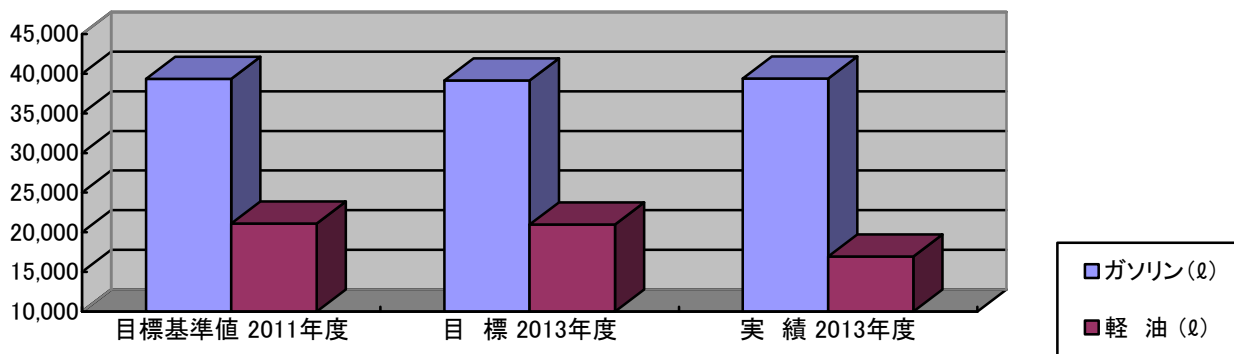
(3) LPG使用量について

	目標基準値 2011年度	目標 2013年度	実績 2013年度	目標達成率
LPG使用量 (kg)	5,726	5,697	5,390	105%
CO2排出量 (Kg-CO2)	17,189	17,102	16,181	



(4) 自動車燃料の使用量について

	目標基準値 2011年度	目標 2013年度	実績 2013年度	目標達成率
ガソリン (ℓ)	39,354	39,157	39,404	99%
軽油 (ℓ)	21,088	20,982	16,951	123%
CO2排出量 (Kg-CO2)	150,720	145,973	135,968	107%



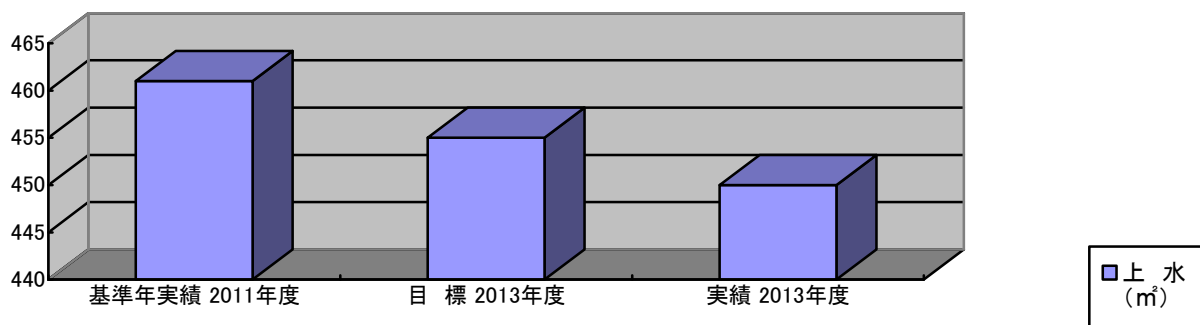
【具体的な取組】

- ・ エコドライブの推進      ・ アイドリングストップの徹底
- ・ 急発進・急加速を抑制する
- ・ 車輛整備 (タイヤ空気圧) などを適正に実施する
- ・ 走行数・燃料使用量の把握、管理
- ・ 道路交通情報の活用      ・ お客様セット忘れによる出動を無くすよう指導する

(5) 水道の使用量について

※総排水量を把握するには困難であるため、上水使用量を数値と致しました。

	基準年実績 2011年度	目標 2013年度	実績 2013年度	目標達成率
上水 (m <sup>3</sup> )	461	455	450	101%



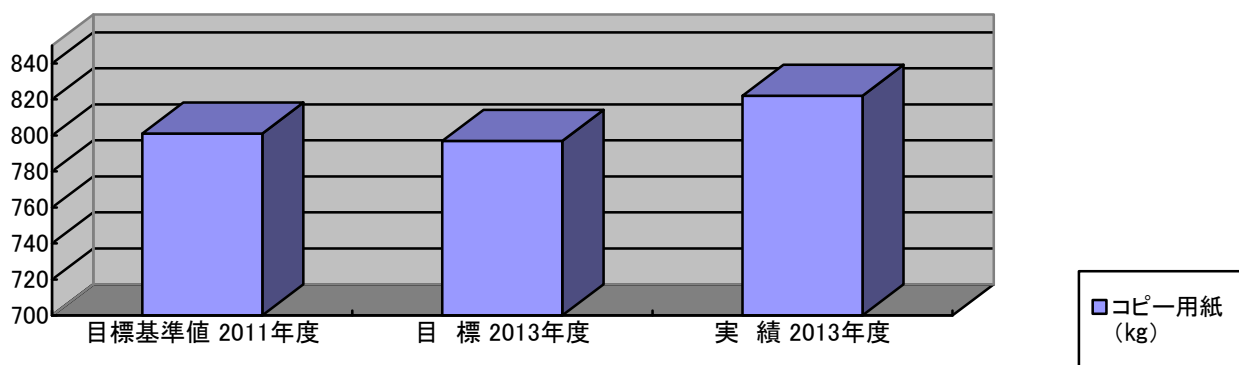
【具体的な取組】

- ・ 節水表示をする
- ・ バケツ洗車を行う
- ・ 雨水タンクの洗車使用
- ・ 洗濯のまとめ洗い
- ・ 水の持出し数量の適正化を図る



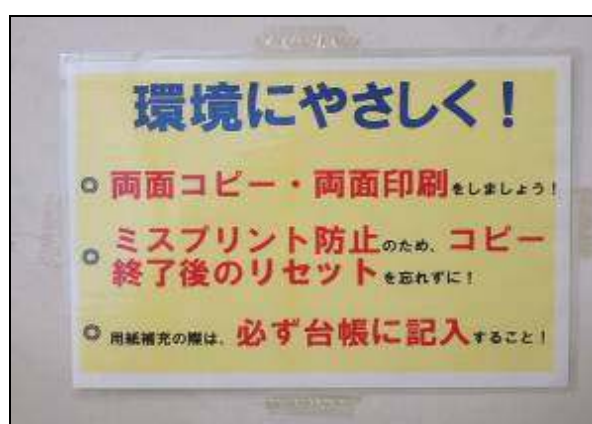
(6) 印刷用紙の使用量について

	目標基準値 2011年度	目標 2013年度	実績 2013年度	目標達成率
コピー用紙 (kg)	801	797	822	97%



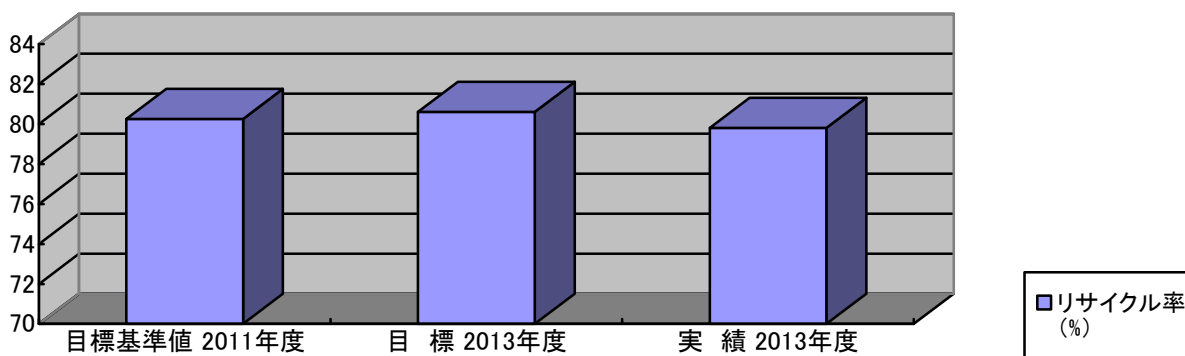
【具体的な取組】

- ・ 両面コピー、両面印刷の徹底
- ・ 使用済み用紙の裏紙印刷
- ・ ミスプリントをなくすため、コピー終了後のリセットの徹底
- ・ メールや回覧などで印刷量の削減を図る
- ・ 不要な機密書類には、スタンプを押して裏紙用紙にする
- ・ スキヤナの有効活用



(7) 当社排出廃棄物リサイクル率について

	目標基準値 2011年度	目標 2013年度	実績 2013年度	目標達成率
リサイクル率 (%)	80.25	80.6	79.8	99%



※再生利用：紙、新聞・公告、雑誌、ダンボール、プラスチック、ペットボトル、缶、ビン

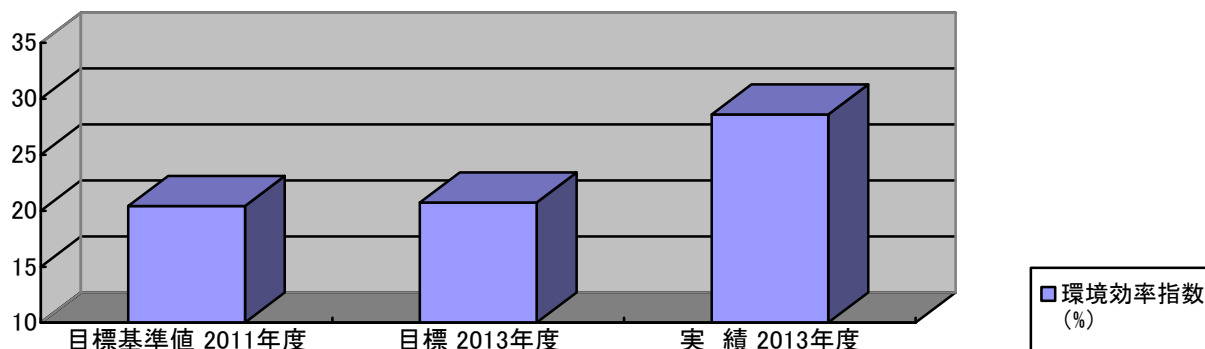
【具体的な取組】

- ・ 使用済み用紙の裏紙利用
- ・ 紙のリサイクル分別（機密書類以外の分別）
- ・ 業務に必要なない物の持ち込み禁止
- ・ 分かりやすい分別方法の掲示

(8) 受託した廃棄物について

※環境効率指数で算出 (売上÷総排出量=A)

	目標基準値 2011年度	目標 2013年度	実績 2013年度	目標達成率
環境効率指数 (%)	20.42	20.72	28.59	140%



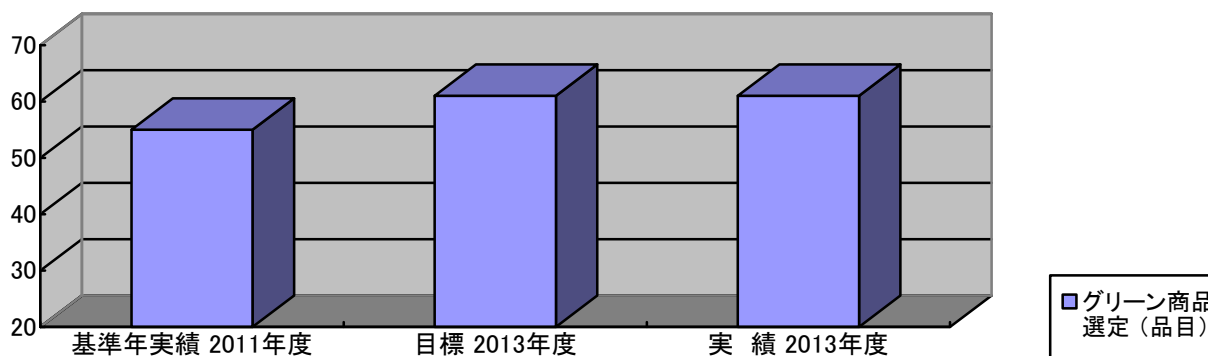
※再生利用：紙、新聞・公告、雑誌、ダンボール、プラスチック、ペットボトル、缶、ビン

【具体的取組】

- ・顧客へ適切な分別指導を行い、排出量の抑制をお願いします

(9) グリーン購入について

	基準年実績 2011年度	目標 2013年度	実績 2013年度	目標達成率
グリーン商品選定 (品目)	55	61	61	100%



【具体的取組】

- ・コピー紙・封筒類の再生紙使用
- ・文房具のエコ商品使用
- ・グリーン商品の選定

#### 4. 環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

今年度の環境負荷低減活動を取りまとめ、環境管理委員会で環境への取組結果の報告を行い、評価及び見直しを行った。

No.	項 目	評価
<b>A</b>	<b>総エネルギーの投入量の削減</b>	<b>○</b>
A-(1)	電気使用量の削減	○
A-(2)	灯油使用量の削減	○
A-(3)	LPG使用量の削減	○
A-(4)	自動車燃料の削減	○
<b>B</b>	<b>資源投入量の削減</b>	<b>△</b>
B-(5)	水使用量の削減	○
B-(6)	印刷用紙の削減	△
<b>C</b>	<b>廃棄物総排出量の削減</b>	<b>○</b>
C-(7)	当社排出廃棄物量のリサイクル率向上	△
C-(8)	受託した廃棄物の環境効率指数向上	○
<b>D</b>	<b>その他の取組み</b>	<b>○</b>
D-(9)	グリーン商品の選定追加	○
D-(10)	環境教育の実施	○
D-(11)	地域活動への積極的な参加	○

### ・電気、灯油、LPガス使用量について

取組内容である昼休み・退社時の消灯、待機電力のカット、室内温度の適正管理など基本的な節電を実施した。また、夏季にかけては窓際にすだれを設置し日除け及び断熱対策を実施し、冬季にかけては窓際に農業用ビニールを貼り付け冷気の遮断を行い、室内保温対策を実施した。各サイトともに目標を達成することができた。中期目標に向けて継続して活動が続ける。

### ・自動車燃料について

取組内容であるエコドライブやアイドリングストップを実施した。概ね目標を達成することができた。警備業務におけるセット忘れによる出動が指導により減少し出動回数の削減に繋がっている。また、一部車両の入替を行い燃費率の向上や軽油からガソリンへのシフトを図っている。中期目標に向けて継続して活動が続ける。

### ・水使用量について

取組内容である節水表示、バケツ洗車、洗濯時の節水等を実施した。目標を達成することができたが、更なる削減が難しい状況から 320 m<sup>3</sup>を次年度以降の目標値に設定することとした。今後は使用割合の高い、洗車及び清掃資材等の洗濯での使用量削減を重点に活動を行う。

### ・印刷用紙について

取組内容である両面コピー・裏紙印刷の徹底やスキャナの活用、コピー機のリセットの徹底等を行った。本社及び一関営業所においては目標を達成できたが、管制においては目標未達でした。全体的にコピー用紙の使用量が増えてしまった。プレゼン資料の作成や講習会・勉強会等の開催が増加したことが要因に上げられる。今後は資料の簡略化、両面刷りの徹底などで使用量削減に取り組む。また、3年連続で目標未達であり、これ以上の削減が望めないと判断し次年度以降の目標値を 820 kgに設定します。

## ・当社排出廃棄物のリサイクル率について

取組内容である使用済み用紙の裏紙利用、資源ごみのリサイクル分別、業務外物の持込み禁止等を行った。管制においては目標を達成できたが、本社においては目標未達でした。裏紙印刷の浸透により紙類の廃棄量が減少し、資源ごみが減少したことによりリサイクル率も減少してきている要因に上げられる。これ以上リサイクル率の向上が望めない状況であり、3年連続で目標未達ということもあり、次年度以降の目標値を80%に設定します。今後も可能な物の分別を徹底して行い、リサイクル率の維持に努める。

## ・受託した廃棄物の環境効率指数について

取組内容である顧客へのリサイクル分別依頼を率先して行った。環境効率指数目標を達成することができた。今後も顧客へのリサイクル分別依頼を率先して行い、廃棄物の減量化及びリサイクル分別に取組む。また、実績値より中期目標が低く設定されており、目標値の再設定が必要なことから26%を次年度目標値に設定します。

## ・その他の取組みについて

グリーン購入については、目標の選定品目を達成することができた。今後もグリーン購入の選定を検討し環境配慮品の購入を推進する。環境教育については、社内教育、常駐現場にはペーパー教育を実施した。地域活動については、冬季の町内除雪作業や交通安全街頭活動を実施するなど地域活動へ積極的に参加した。今後とも社会貢献活動の一環として取組んで行きたい。

## 5. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

内 容	結 果
環境関係法律違反の有無	無
訴訟の有無	無

環境関連法規について、平成26年6月20日当社チェック表でチェックした結果及び環境に関するクレーム受付の結果から環境関連法規への違反はありません。また、関係当局よりの違反等の指摘はありません。

## 6. 代表者による全体評価と見直し結果

### 【代表者のコメント】

近年、地球温暖化の影響によりかつてない程の集中豪雨の発生や異常気象が続いております。環境問題において我々にできる取組を実践して環境負荷低減に努めて参ります。概ね数値目標を達成できたことは評価しております。目標未達であったコピー用紙の使用量においては新規業務の提案や講習資料によるものの増加と思われませんが、可能な限り資料の簡略化を図り使用量削減に努めてください。また、自社排出廃棄物のリサイクル率においても目標未達でありました。取組を開始して9年が経ち、各項目とも削減率が伸び悩んでいるのが現状である為、目標値の見直しを実施する。次年度中期目標に向け、情報を収集し環境負荷に努めてください。

北上ビルメン株式会社

代表者 鈴木 俊彦

(作成 平野直希)



組織の概要(情報公開)						
事業所名		北上ビルメン株式会社				
代表者名		代表取締役社長 鈴木 俊彦				
所在地		北上市幸町2-5				
環境管理責任者		平野 達郎				
エコアクション21担当者		平野 直希				
連絡先		電話	0197-64-3347	ファクス	0197-63-6114	
		E-mail	<a href="mailto:info@kbm1972.com">info@kbm1972.com</a>			
		UCL	<a href="http://www.kbm1972.com">www.kbm1972.com</a>			
事業活動の内容		(1)ビルメンメンテナンス業 (2) 特別管理・産業廃棄物収集運搬業 (3) 一般廃棄物収集運搬業 (4) 警備業 (5) 一般建設業				
事業の規模	事業年度	23Fy	24Fy	25Fy	Fy	
	売上高 (百万円)	1,516	1,476	1,489		
	収集運搬売上高 (百万円)	6.6	2.7	2.3		
	総収集運搬量(t)	73.2	81.1	82.6		
	全社員・従業員(名)	670	683	683		
法人設立年月日	昭和47年11月28日		資本金	20	百万円	
許可の内容	許可名/許可番号	年月日		事業計画・事業の範囲(事業区分、廃棄物の種類)		
	建築物環境衛生総合管理業	許可	H24.6.8			
	岩手県53二十四総第1号	有効	H30.6.7			
	建築物ねずみこん虫等防除業	許可	H24.11.18			
	岩手県53二十四ね第2号	有効	H30.11.17			
	建築物飲料水貯水槽清掃業	許可	H24.8.29			
	岩手県53二十四貯第1号	有効	H30.8.28			
	浄化槽保守点検業	許可	H25.3.14			
	岩手県24(登)中第11号	有効	H28.3.13			
	産業廃棄物収集運搬業	許可	H24.5.15	汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く)及び陶磁器くず・がれき類(自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く)		
	岩手県第00302006606号	有効	H29.5.14			
	特別管理産業廃棄物収集運搬業	許可	H25.7.19	感染性産業廃棄物収集運搬		
	岩手県第00352006606号	有効	H30.7.18			
一般廃棄物収集運搬業	許可	H24.7.4	一般廃棄物収集運搬			
北上市第357号	有効	H26.7.3				
設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数
	塵芥収集車	積載量1,500kg	1			
	アルミバン	積載量1,300kg	1			

処理方法・処理工程

産業廃棄物



特別管理産業廃棄物



当社は積み替え保管は行っておりません。

廃棄物処理料金	収集運搬物・処理物	標準価格	単位	受入基準・処理方法
		塵芥収集車	15,000	台・日
上記の料金は分別済み・梱包済みで当社から10km以内の収集範囲の価格です。廃棄物の処理料金については品目ごとに個別対応で見積いたします。お問い合わせ下さい。				

産業廃棄物の処理量

平成25年度

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t
収集運搬	汚泥		
	廃油		
	廃プラスチック		
	紙くず		
	木くず		
	繊維くず		
	動植物性残渣		
	金属くず		
	ガラスコンクリ陶		
	がれき類		
	ゴムくず		
	混合廃棄物		
収集運搬量合計			0

組織概要

